

| | | | |
|---|-------------------------|-----------------------------|-------|
| 研究課題(テーマ) | | 第7回 富山県立大学学長杯争奪 英語スピーチコンテスト | |
| 研究者 | 所属学科等 | 職 | 氏名 |
| 代表者 | 英語教育改革推進チーム 教養教育センター | 英語教育改革ディレクター 准教授 | 山崎 大介 |
| 研究結果の概要 | | | |
| <p>本学では、「グローバル人材育成プログラム 富山県立大学版」の一部として、平成28年度より、「富山県立大学学長杯争奪 英語スピーチコンテスト」を毎年実施している。このコンテストでは、本学学生が日頃の英語学習の成果などを多くの聴衆の前で披露しており、本学における研究教育成果等を継続して広く世間に発信する上で、とても重要な役割を果たしていると思われる。なお、「第7回」の大会は、以下の要領で開催した。</p> <p style="text-align: center;">【概要】</p> <p>大会名称：「第7回 富山県立大学学長杯争奪 英語スピーチコンテスト」</p> <p>日時：令和4年10月21日(金曜日) 15時45分～17時15分</p> <p>場所：Web会議システムを利用してオンラインにて開催</p> <p>内容：<u>開会式</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査委員長挨拶 富山県立大学 学長 下山 勲 ・ 審査委員等の紹介、及びルール説明等 <p><u>英語スピーチコンテスト 決勝</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【学部1年次生の部】 Recitation 部門： 指定された英語の課題文(Martin Luther King, Jr.による"I have a dream"スピーチの一部)を暗唱し発表 ・【学部1～3年次生の部】 課題スピーチ部門： 英語(190語)で富山の魅力を世界に伝える <p><u>感想等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 射水市国際交流員 Emily Gwyther (エミリー・グウィザー) ・ 富山県立大学 工学部 准教授 Parham Mokhtari (パーハム・モクタリ) <p><u>閉会式</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結果発表 ・ 講評 ロンドン大学 University College London 校 言語・国際教育センター 英語講師 Jackie Wastson (ジャッキー・ワトソン) ・ 閉会挨拶 富山県立大学 英語教育改革ディレクター 教養教育センター 准教授 山崎 大介(大会実行委員長) <p>大会実行委員会メンバー： TEAM 山崎(山崎英語塾メンバー、及び山崎ゼミ生など)</p> | | | |
| 今後の展開 | | | |
| <p>コロナ禍において、これまで継続的に実施してきた活動等が制限されるという状況の中、過去を振り返り、そして、未来を見据えて、この現状で何かできることはないかを問い、一昨年の第5回、そして、昨年の第6回大会に引き続き、「第7回」のスピーチコンテストも「オンライン」で開催した。2020年度前期からの「遠隔授業」で培った知識や知恵、技術なども生かし、前回の大会よりもさらに進化したスピーチコンテストをお届けすることができ、すべてを無事に終えることができた。特に、オンラインで世界とつながり、ロンドン大学のジャッキー・ワトソン先生に、イギリス・ロンドンの現地からリアルタイムでご参加いただいたことは、これからのあるべき国際交流のカタチなどを知らしめる良い機会になったかもしれない。また、コンテスト当日、多くの学生がスピーチを視聴しており、同じ大学でともに学ぶ仲間のスピーチを聴くことにより、大きな刺激を受けたであろう。このスピーチコンテストが、学内外に本学の研究教育成果等の情報を十二分に発信していると思われ、今後も継続して実施することが大いに望まれるところである。</p> | | | |